

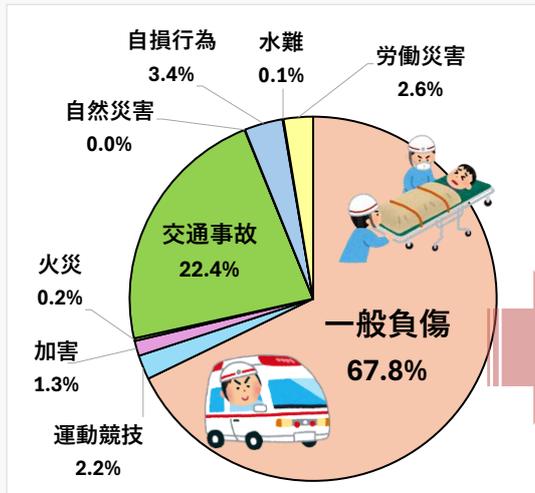
外傷予防
の取組

セーフコミュニティとは、「事故やけがは偶然起きるものではなく、原因を調べ、対策を行うことにより予防できる。」という考えのもと、地域住民、団体、行政が一緒になって行う、事故やけがの予防の取組のことで。今回は救急搬送データなどからみえてきた傾向等をご紹介します！

鹿児島市救急搬送データ（令和5年度）より

事故種別救急搬送件数の割合

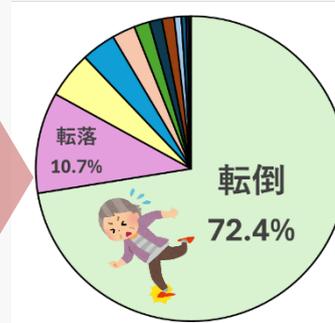
（不搬送、急病、転院搬送、その他を除く）



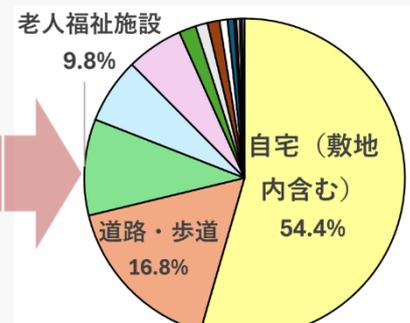
救急搬送の約7割が一般負傷によるものであり、さらにそのうち約7割を「転倒」が占めています。転倒の発生場所は、「自宅」が最も多く、住み慣れた自宅でも注意が必要です。



一般負傷の内訳



転倒の発生場所



転倒の危険性

受傷トップ3	平均医療費
股関節大腿近位骨折	約147万円
胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）	約120万円
頭蓋・頭蓋内損傷	約70万円

転倒は骨折や頭部外傷等の大けがにつながりやすく、それが原因で介護が必要な状態になることもあります。たとえ、骨折の症状が軽くても若いときに比べると回復に時間がかかります。また、退院までの医療費は100万円以上かかることもあります。事故やけがで入院をすると、日常生活が奪われるだけでなく、経済的損失も大きいことがデータからわかります。

※鹿児島市内3病院に「外傷・熱傷・中毒」により入院した患者（救急入院を含む）の医療費等のデータ（2023年度）に基づく
※医療費は入院期間中（回復期含む）に要したすべての請求額（10割）。食糧費、自由（自費）診療分除く。自賠責保険・労働災害保険を除く。医療機関別係数を除く。

転倒予防のためのポイント

住み慣れた自宅は安全だと思いがちですが、わずかな段差でもつまづく原因となります。転倒の起こりやすいところをチェックし、住環境を整備しましょう。

できるところから
対策をして
みましよう！

- 【階段】 すべり止めと手すりをつける
- 【トイレ】 寝室からトイレまでの通路に照明を取りつける
- 【浴室】 すべりやすいので、手すりやすべり止めマット等の設置
- 【廊下】 足元照明の設置
- 【居室】 室内の電化製品のコードに足を引っかけないようまとめておく
- 【寝室】 寝床から届く位置に照明を設置

